

ACPの取り組みについて

～大崎上島町版ライフデザインノート
「人生の彩ノート」の活用について～

大崎上島町福祉課介護保険係

【基本情報】概要

大崎上島町は、瀬戸内海に浮かぶ芸予諸島の大崎上島にあります。南は、愛媛県今治市の大三島と海上1キロメートルで面し、北は、竹原市、東広島市安芸津町と海上10キロメートルで面しています。平成15年4月1日に大崎上島にあった、大崎町・東野町・木江町が合併し大崎上島町は誕生しました。(1島に1町となる。)

大崎上島は、橋のかかっていない島で本州とは、竹原市の竹原港からフェリーと高速船で、東広島市の安芸津港からフェリーで結ばれています。その他大崎下島、大三島、今治とも便があります。

面積は、43.11km²。気候は温暖少雨で、降雪・降霜日数も多くありません。

高齢者の多い町ですが、学校も多い町で、生徒・学生・学校職員が多く住んでいます。

🌸 県立広島叡智学園中学校・高等学校(全寮制)

🌸 県立大崎海星高等学校(寮あり)

🌸 広島商船高等専門学校(寮あり)



町章



町の木(みかん)



町の花(三色スミレ)

【基本情報】 大崎上島町の位置



大崎上島町





【基本情報】基礎情報

❁人口:7,388人(令和2年9月1日現在)

❁高齢化率:47.2%(28.80%)

❁認定率:23.8%(令和2年9月末現在)

❁地域包括支援センター:1(委託)、ブランチ(在宅介護支援センター):2

❁大崎福祉会

(特養:2 短期入所:2 デイサービス:2 訪看:1 訪介:1 居宅:1)

❁ひがしの会

(老健:1 デイケア:1 訪介:1 居宅:1 GH:2)

❁診療所:5(在宅療養支援:1 病院なし) 歯科診療所:5(在宅療養支援:2)

❁いきいき百歳体操実施会場:27会場(参加率:11.2% 令和2年9月末現在)

【基本情報】取り組みの実施体制

担 当 課:福祉課 介護保険係

(当初H26年度は、保健衛生課H27年度以降は、介護保険法の改正に伴い福祉課)

庁内関係課:保健衛生課 保健指導係

連携関係団体:広島大学大学院(森山研究室)、訪問看護ステーションおおさき、
大崎上島町在宅医療推進会議(現在は、大崎上島町在宅医療・介護連携推進会議)、
豊田郡医師会、大崎上島町介護支援専門員連絡協議会、
居宅介護支援事業所おおさき、みゆき居宅介護支援事業所、
大崎上島町社協居宅介護支援事業所、
大崎上島町地域包括支援センター、大崎上島町社会福祉協議会、
ヘルパーステーションおおさき、ホームヘルプステーションひがしの

【取組内容】1. 取組の経緯

在宅医療推進拠点整備事業を実施する際に広島大学(成人看護開発学講座 森山美知子教授)と共同研究契約を結び事業を展開。

事業で在宅看取りの普及啓発活動を進める中で、ACPの重要性・必要性が関係者間で共通認識された。

そこで、町内事業所の訪問看護師と広島大学が中心となり、大崎上島町版エンディングノート「人生の彩ノート」を作成。

【取組内容】2. 取組の展開①

1. 課題の抽出

関係者との話し合いや、在宅医療・介護連携推進会議の協議の中で、本人の望む人生の最期を迎えたい場所と、実際に人生の最期を迎えている場所に、乖離があることがわかった。

在宅看取りを進めるためには、本人の考えや、希望が明確にされていることが重要であることがわかった。

しかし、そもそも在宅で最期を迎えられると思っていない住民が多くいた。

また、本人の考えや、希望が介護者、家族、在宅医療関係者、在宅介護関係者に明確に伝わっていない現状があった。

そこで、ACPの必要性が確認された。

【取組内容】2. 取組の展開②

2. 検討体制

在宅医療・介護連携推進事業の取り組みの中で、広島大学大学院と訪問看護ステーションおおさきの看護師が中心となり、大崎上島町版エンディングノート「人生の彩ノート」を作成した。



【取組内容】2. 取組の展開③ー1

3ー1. 取組方針

人生の最後の場所は、希望としては、“自宅”であるが、そうは言っても現実には“病院”という意識が高い現状がある。

❁ 自分の望む場所で、自分の望む医療と介護を受けながら人生の最期を迎えるために自分ができることがある。

❁ 少数ではあるが様々な取り組みにより、人生の最期を自宅で迎えている人がいる。

これら2つのことを柱に、普及啓発していくこととなった。

【取組内容】2. 取組の展開③ー2

3ー2. 対策の内容

H26年度～・・・「人生の彩ノート」の普及啓発事業の実施

H26.12.20(土)・・・講演会「この島で私らしく生きていくために」第4部開催

H27.8.8(土)・・・ACP小地域普及実践講座開催

H28.11.5(土)・・・ACP普及啓発講演会開催

H30.2.3(土)・・・ACPについて考える講演会開催

H31.2.21(土)・・・ACP「人生会議」普及啓発講演会開催

R1.11.3(日)・・・「第8回大崎上島町ふくしのまちづくりのつどい」において普及啓発

R1.11・・・「人生の彩ノート」の増刷

R2.2.20(木)・・・「人生の彩ノート」記入学習会開催

R2.11.19(木)・・・「人生の彩ノート」記入学習会開催

【取組内容】2. 取組の展開③ー2

3ー2. 対策の内容

H26年度～… 在宅看取りの普及啓発事業の実施

❁医療介護関係者への普及啓発

多職種連携症例報告会の開催 1～2回/年

在宅看取りの症例に関わった家族、関係者がパネリストとなり、医療・介護・福祉・保健の専門職を対象に、症例の報告を行い症例をもとに、町内でのより良い看取りの在り方や課題について協議する。

❁住民への普及啓発

在宅看取りのシンポジウムの開催 1～2回/年

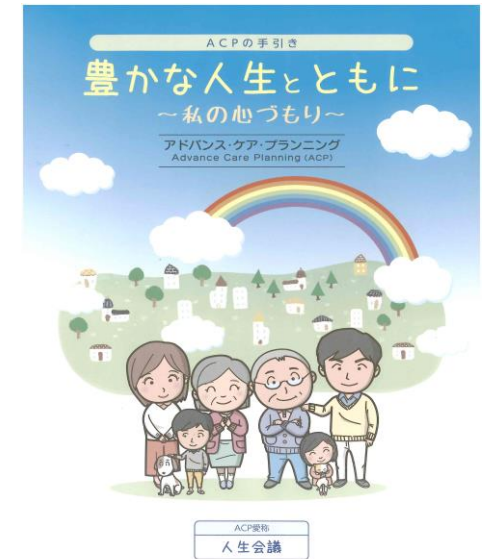
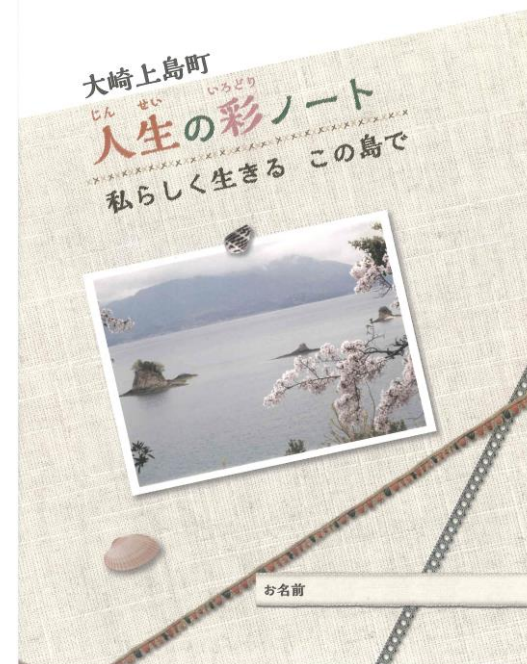
多職種連携症例報告会を住民向けに開催。家族のしたことや思い、各職種や関係者の役割や、思いなどの話を聞くことで、在宅看取りの在り方について普及啓発する。

【取組内容】2. 取組の展開④

4. 実施状況の確認

❁「人生の彩ノート」記入学習会開催回数

❁介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の、「ACPの認知度」の向上

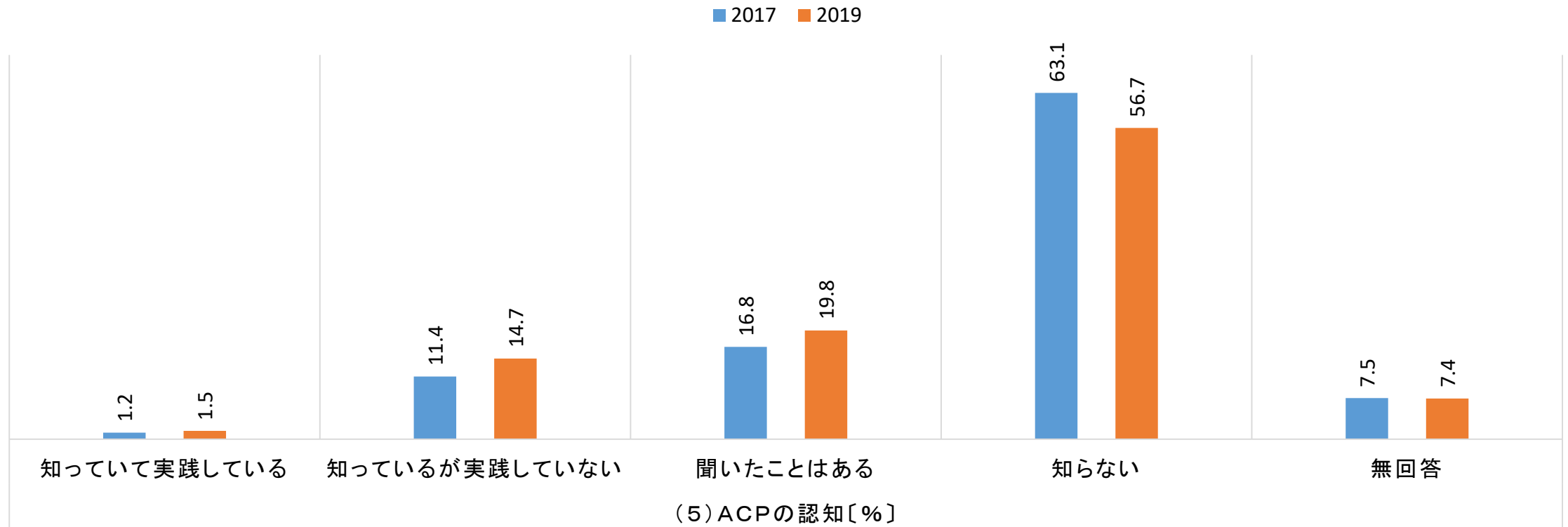


【取組内容】2. 取組の展開⑤

5-1. 評価

❁ ACP認知度の増加(介護予防・日常生活ニーズ調査)

❁ 「人生の彩ノート」を記入する学習会開催回数の増加(R元年度1地区 R2年度1地区)



【取組内容】2. 取組の展開⑤

5-2. 改善への取り組み状況

❁普及啓発方法変更

単独ACP普及啓発講演会

→在宅看取りのシンポジウムでの普及啓発(私の心づもりの記入)

単独ACP普及啓発講演会での「人生の彩ノート」の配布

→「人生の彩ノート」を記入する学習会の開催

認知症地域支援推進員活動の中での普及啓発(私の心づもりの記入)

❁記入したい人が本当に記入できるような事業展開へ

【取組内容】4. 参考資料

南魚沼市社会福祉協議会作成

「老後の生き方ライフデザインノート」

南魚沼市社会福祉協議会ホームページの

URL:<https://www.mu-shakyo.or.jp>

ご清聴ありがとうございました。

